



秋 夢はビッグプロジェクト!!

熊本地震 お見舞い申し上げます

埼玉県議会議員
高橋 まさお

- 新たな日本の価値③ ●最近の活動から
- 少子高齢福祉社会対策委員長
- 私学振興 ●ひと・まち・しごと戦略 修正案
- 議員政策条例2本成立 ●スタッフ「ゆうちゃん」

県政活動事務所
さいたま市緑区中尾270 048-873-4369
<http://www.marchan.jp> ブログ毎日更新

政務活動資料

地域通信

平成28年秋号 (VOL. 209)

365日まーちゃん

新たな日本の価値③

私達は、大いなる
勇氣と英断をもって、
「新たな日本の価値」
を創るべき時がきた。
今の現実を語りたい。

い。日本人特有の自我を押さえて相手を思いやる心は、外国のお客様へのホスピタリティ精神などを除けば、本質的には既に相当部分失われたと思う。

私達は、日常の社会・地域活動などを通して、想像以上に従来の良い意味での控えめの日本人ではなくなった。戦後の米国教育や現世界の価値感などの影響下、私達は自分の意見や価値観を他人に堂々と発言するようになってきているのだ。あえて述べるのだが、「新たな日本の価値」を創るには、従来からのある種の心地良さ等、相当な部分を我慢する必要があると思う。苦言的に言いたいのが、最近特に、自分の意見・主張を通そうとするあまりに語気を必要以上に強めたり、他人の意見を聞かずに、一方的に発言し続ける人を見かけるようになった。

この辺で、全体と自分、権利と義務など、新たな所作の整理が必要だ。自分では一人正しいと思ひ込んでいても、皆等しく正しいのだ。自分の主義主張を的確に述べて論議するのと、恫喝ばりの発言は違う。

「新たな日本の価値」を創るためには、私達自身の教育・成長を待たなければならぬと思う。

県議会議員

高橋政雄

(つづく)



旧来の正月を踏襲「高橋宅」



地域訪問「美園・野田」3月

活動から

地域

地域ご用聞き 高橋まさおは
地元地域をずーっと歩いている。
お一人お一人とお話をする事が好きなのだ。
住民皆様にお近づきになる事が、地域政治活動の原点と考えるのだ。
「365日まーちゃん」これからも汗を流して歩く。

防犯カメラ設置「東浦和大通り」3月



東に西に 南に北に

汗を流す



大樹の移植「大門」3月



雨の駅頭「浦和駅」3月

チラシ配布「緑区内」3月



地元施設の落成式
「緑消防署」3月



広報紙
「三室・見沼公園」3月



県議3期

委員会審査
「委員会室」

少子高齢福祉社会対策特別委員会
高橋政雄

今年度、高橋政雄は県議会の少子高齢福祉社会対策特別委員会の委員長に就任しました。今、私達の国が抱える社会の基本問題であり、将来に向けて克服しなければならぬのが「少子高齢化問題」です。

常任委員会は県土都市整備委員会。審議会としては、社会福祉審議会委員、都市計画審議会委員を拝命しました。常に初心を忘れずに「365日まーちゃん」を賞きます。地域のために、住民ひとり一人のために、汗を流して働いて参ります。



正副委員長協議「昨年度・公社事業委員会/議会」

東奔西走

埼玉県私学振興

自民党県議団の要望で
保護者負担の更なる軽減を実現！

自民党議員団では、私学高等学校へ通う子供達のために、大きな私の格差解消を始めとした学校運営の支援に取り組んで参りました。私学が果たしてきた役割を見るときに、更なる充実、支援が必要と考えて保護者年収の緩和措置など補助金等の拡充を求めて参りました。また、幼稚園、保育園、特別支援教育等の補助事業増額に取り組みました。

埼玉県ひと・まち・しごと総合戦略修正案

議員政策条例

2本制定し成立



県政110番

埼玉県議会議員

高橋 まさお

■一級建築士・宅地建物取引士
被災建築物応急危険度判定士
■議会 少子高齢福祉社会委員会委員長
社会福祉審議会・都市計画審議会

調査で熊本県へ

スタッフ
ゆうちゃん

笑顔で、元気よく、明るく前向きに仕事もプライベートも過ごしています。長男の高橋佑輔です。皆さまには日頃から地域活動等大変お世話になっております。

熊本地震から早いもので半年近く経とうとしていますが、最近ではテレビやラジオ等であまり報道されなくなりました。しかし、皆さまもご存知の通りで事態が収束しているわけではございません。



倒れた電柱

益城町

倒れた家

7月に私は被害の調査をするために益城町を中心とした熊本県を訪れました。被災された方々のお話を伺ったり、今でもまちの大きな爪痕となっている倒壊した家を見たり、地滑りにより大きく露出した山肌を目にしました。自然の脅威を改めて実感することができました。

経験を今後の人生や地域防災対策等に活かしていきたいと強く思いました。最後に、被災された皆さまが一日でも早くもとの生活、平穏な暮らしが送れますようにお祈り申し上げます。

高橋 佑輔

熊本地震～被災地を歩く～